

中村真紀子 様
所属する世界的オーケストラ「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」の
日本ツアー及び富士市公演への出演の報告
(令和6年8月2日)

富士市出身のヴァイオリニスト中村真紀子様が、所属する世界的オーケストラ「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」の日本ツアーに出演すること、及び富士市公演が決定したことの報告のため、8月2日に富士市長を表敬訪問されました。

訪問者 中村 真紀子 (なかむら まきこ) 様

同行者 秋山 喜英 (あきやま よしひで) 様 (公益財団法人富士市文化振興財団理事長)

中村 史子 (なかむら ふみこ) 様 (真紀子様の母、富士クラシック協会元代表)

○富士市公演に関する概要

催事名：「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 ニューイヤーコンサート 2025」(仮題)

日時：2025年1月7日(火) 夜公演

会場：富士市文化会館ロゼシアター大ホール

主催：サントリーホール

共催：公益財団法人富士市文化振興財団

○ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団について

国際的に歴史と知名度のある交響楽団。平成5年11月1日にロゼシアター開館のこけら落とし公演を開催。

またサントリーホールでは毎年、大晦日のジルベスターコンサートから新年1月1日～3日のニューイヤーコンサートの4日間コンサートを開催している。

ウィーン・フィルと並び世界最高のウィンナ・ワルツ、ポルカを聴かせてくれるこの楽団は、ウィーンを代表するオペラ、オペレッタハウスとして1898年に創設されたウィーン・フォルクスオーパー(国民劇場)のオーケストラ・メンバーにより結成され、ウィーン市民に長く愛され続けている。
※サントリーホール web サイトより

○中村 真紀子 (なかむら まきこ) 様プロフィール

1977年生まれ、富士市広見小、岳陽中学校卒業生

1996年、東京藝術大学付属音楽高等学校卒業

2000年、東京藝術大学卒業後、ウィーン国立音楽大学にてドーラ・シュバルツベルク氏に師事

2005年より、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団に所属

2012年より、第一ヴァイオリン副首席奏者を務める

2024年現在、オーストリア、ウィーン在住

○ロゼシアター出演歴

ロゼシアター開館10周年にあたる2003年9月に「2003年第10回アンドレア＝ポスタータッキーニ国際ヴァイオリン・コンクール第3位受賞記念」と冠し、ロゼシアター中ホールにてヴァイオリン・リサイタルを開催。

同じく2003年10月発行「情報誌ロゼ」にて表紙を飾る。

※当時ウィーン国立音楽大学在学中

表敬訪問の様子

